

# コロナ禍における避難行動について

## 1 分散避難の検討

- 避難所は「密閉・密室・密接」の3条件がそろいやすく、クラスターの発生が懸念されます。
- 避難とは「難」を「避」けることです。
- 安全な場所に居る人は、避難所に行く必要はありません。
- 避難所だけが避難場所ではありません。安全な親戚、知人宅へ避難することも考えてみましょう。

## 2 避難に必要なものを準備しましょう

- マスク、消毒液・せっけん、体温計、上履き・スリッパ、使い捨てビニール手袋 など  
新型コロナウイルスの対策物品を用意しましょう。  
※町が用意できる数量は限られています。

## 3 避難先までの行き方を確認しましょう

- ハザードマップを確認し、自宅の危険度を踏まえ、避難先である「指定避難所」や「安全な親戚、知人宅」までの避難経路を確認しておきましょう。
- 避難に時間がかかる場合は、早めの対応が必要です。事前の確認、準備をしましょう。

## 4 豪雨時の屋外移動は危険です

- 豪雨時の移動は視界不良や水たまりなど普段とは状況が異なるため、車での移動も含めて危険です。状況を判断し、最善の方法をとってください。

## 5 情報を確認しましょう

- 防災無線など、町からの情報や、テレビ、ラジオで最新の情報を取得しましょう。
- 町が指定する避難所が変更、増設されている場合があります。町の公式 SNS も確認しましょう。

